

二酸化塩素発生剤『クローリン O2 粉末』の使用方法 <3g 包装>

二酸化塩素水の作り方

二酸化塩素発生剤『クローリン O2 粉末』を使用して純粋二酸化塩素水を作るのは大変簡単です。用意した容器（例えば、精製水500mlが入っているペットボトル）に1袋を入れて蓋をしっかりと閉め、3～7分待ち、粉末が完全に溶けると透明な淡い黄緑色の希釈水ができます。これが二酸化塩素水です。

また、希釈に際しては目的とする殺菌・滅菌或は脱臭レベルに応じて希釈します。下の殺菌データなどをご参照下さい。最良な二酸化塩素水を得るための希釈水は精製水を使用してください。水道水を使用する場合はカルキを抜いてからの使用をお奨めします。

二酸化塩素発生剤『クローリン O2 粉末』1袋あたりの希釈例

クローリンO2粉末 3g の場合(白色箱)			
水 500 ミリリットル	50ppm	水 10 リットル	2.5ppm
水 1 リットル	25ppm	水 20 リットル	1.25ppm
水 2 リットル	12.5ppm	水 50 リットル	0.5ppm
水 5 リットル	5ppm	水 100 リットル	0.25ppm

二酸化塩素水の「保存」と有効二酸化塩素濃度の「経時変化」について

◎二酸化塩素水の「保存」が必要な場合は、密閉容器に入れて、冷蔵庫などの冷暗所で保存してください。「二酸化塩素」自体は、常温では「気体」の物質ですが、水に対する溶解性が良く、水中に溶存しますが、温度と光によって影響を受けますので長期保存には適していません。使い切る量を作るのが経済的です。

◎水中に溶存する『クローリン O2 粉末』による有効二酸化塩素は紫外線（太陽光線など）に影響を受けやすく、「経時変化」を起こし酸化活性値が徐々に低下しますので二酸化塩素水を保存後に使用するときには十分ご注意ください。

成分及び含有量

(Wt%)

亜塩素酸ナトリウム	カルボン酸	塩化ナトリウム	無水硫酸マグネシウム
20%	25%	5%	50%

二酸化塩素の殺菌データ

試験菌	死滅濃度 (ppm)		試験菌	死滅濃度 (ppm)	
	2分30秒後	15分後		2分30秒後	15分後
大腸菌・O157	0.25	—	黄色ブドウ球菌	2	—
サルモネラ	1	0.1	緑膿菌	10	1
腸炎ビブリオ	1	0.1	クリプトスポリジウム	100	100
乳酸球菌	10	1	クラドスポリウム	10	10
乳酸桿菌	1	1	青カビ	10	10
リゾブス	10	10	フザリウム	10	1
ビソクラミス	10	10	レジオネラ属菌	—	0.35

殆どの菌は有効二酸化塩素濃度が 10 ppm 以上の場合、2.5分以内で不活化されます。

ウイルス類に関しては、A 型肝炎ウイルス、SARS、鳥インフルエンザ・ウイルス、新型インフルエンザ・ウイルス等に対して低濃度（例：新型インフルエンザ・ウイルスには0.03ppm）で有効なことが確認されています。

その他

◎ ペットなどの動物飼育場の殺菌と消臭

濃度 10ppm – 50ppm の二酸化塩素水を作り、スプレーヤーで噴霧・散布してください。除菌とともに、腐敗菌で生成される嫌な臭いの元（硫化水素等硫化化合物、アルデヒド、低級脂肪酸等）の消臭に最適です。嫌な臭いは、瞬時に酸化分解し消えます。

◎安全性：人畜無害です（通常使用時）